

**オムロン株式会社 2013 年度 3Q 決算
投資家様向け説明会 質疑応答
(2014 年 1 月 30 日、東京)**

◆ 全社業績・経営・戦略関連

Q:適正なネットキャッシュの水準はどの程度か？M&Aの計画はどうみているか？

A:25日(600億円程度)が目安。今後も M&A を含む成長に向けての投資は検討する。一方で、今後配当性向を高めることや自己株取得も検討していく。

Q:戦略経費の計画 150億円のうち、3Q 累計の実績は？

A:3分の2程度を実行している。

Q:4Q への経費の繰り延べはどの程度の金額なのか？それは IAB に多いのか？

A:金額としては 20 億円程度。その中には IAB 以外に、他の BC のものも含まれている。経費については、4Qでしっかりと実行し、FY14への繰り越しはないようにする予定。

◆ IAB 関連

Q:地域毎の景況感について中間決算時から変化があるか？

A:国内の 3Q は前年同期比プラスで推移しており、1 月の見通しも堅調で、国内は改善傾向にある。東南アジアの中ではタイが政治の影響もあり、低調に推移している。

Q:中国は不透明感があるということだが、客先業界で強弱はあるか？

A:工作機・繊維などは依然として回復が見られていない。

Q:現地通貨ベースで厳しいとのことだが、何か明るい兆しはあるのか？

A:欧州は徐々に回復している。米州はオイル&ガス事業の売上の期ズレがあったが、年間では期初計画は達成する見込み。

Q:欧州の景況はどうか？

A:イギリス、イタリア、東欧で改善傾向。

◆ HCB 関連

Q:ウェアラブルなデバイスの売上は今後どれくらい占めるのか？

A:今後の売上の計画は具体的には申し上げられないが、オムロンの強みである生体情報センシングを活かした商品のリリースを考えている。

Q:ウェアラブルデバイス関連商品は今後どの程度普及すると考えているか？

A:活動量計を中心に技術開発や商品コンセプトを固めているところ。健康管理系商品の活動量計などは今後、様々な形で市場に出てくると思う。

Q:サービス事業の今後の売上イメージはどの程度か？

A:売上はまだ少ないと考えている。多くは既存のハードウェア事業。フィービジネスもうまく展開していきたい。

Q:ウェルネスリンクの海外展開をどのように考えているか？

A:海外展開として、ヨーロッパ、アメリカなどを検討している。

Q:ヘルスケアが 1,000 億円の売上を超えた際の収益性はどの程度見ているか？

A:当然のことながら 1%でも収益を拡大させたいと考えている。売上拡大に伴い投資も増加させることになるので、収益性は現在の水準くらいになると見ている。

◆その他事業関連

Q:バックライト事業は上期から下期にかけて3割減少見込み、環境事業は2割伸びると言っていたが、現状は？

A:環境事業は大きな変化はない。バックライト事業は売上が想定よりも拡大している状況。
